

# 平成20年度 病害虫発生予察情報 発生予報第2号（5月）

平成20年5月2日  
島 根 県

予報の概要			
区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	ムギ	さび病類	やや多い
		赤かび病	平年並
		うどんこ病	やや少ない
	イネ	ヒメトビウンカ	少ない
		ニカメイチュウ	少ない
		ツマグロヨコバイ	平年並
		イネミズゾウムシ	平年並
		黒斑病	平年並
		黒星病	平年並
		シンクイムシ類	やや多い
ハマキムシ類	平年並		
果樹	ナシ	ハダニ類	やや多い
		カキ	平年並
		タマネギ	やや少ない～少ない
	野菜	べと病	多い
		腐敗病・軟腐病	やや少ない～少ない
		イチゴ	平年並～やや多い
		アブラムシ類	平年並～やや多い

中国地方1か月予報（5月3日～6月2日・広島地方気象台5月2日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

気温	20%	40%	40%
降水量	40%	30%	30%
日照時間	30%	30%	40%
	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

## A. 普通作物

### 1) ムギ

#### (1) さび病類（小さび病、赤さび病）

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや多い

予報の根拠

①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率7.2%（平年7.6%）、発病茎率5.7%（平年2.9%）で平年に比べてやや多い。

②向こう1か月の気象は本病の発生を抑制する要因とはならない。

#### (2) 赤かび病

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 平年並

予報の根拠

①ムギの生育は平年に比べてやや早い。

②4月30日現在、巡回調査地点において発生は確認されておらず、発生量は平年並みである。

③向こう1か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

#### (3) うどんこ病

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや少ない

①4月30日現在、巡回調査地点において発生は確認されておらず、発生量は平年に比べてやや少ない。

②向こう1か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) イネ

(1) ヒメトビウンカ

予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 少ない

予報の根拠

- ①予察灯への飛来は、4月第6半旬まで認められない。
- ②4月中旬のすくい取り調査では、捕獲数は0頭（平年0.15頭/20回振）、発生圃場率は0%（平年6.3%）で発生量は平年に比べて少ない。
- ③向こう1か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ニカメイチュウ（第1世代）

予報内容  
発生地方 県下全域  
発生時期 やや早い  
発生量 少ない

予報の根拠

- ①前年の第2世代成虫発生量は平年比5%で、越冬量は少ないと考えられる。
- ②予察灯への飛来は、4月第6半旬まで認められない。
- ③向こう1か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) ツマグロヨコバイ

予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 平年並

予報の根拠

- ①予察灯への飛来は、4月第6半旬まで認められない。
- ②4月中旬の圃場すくい取り調査では、捕獲数は2.6頭（平年2.0頭/20回振）、発生圃場率は40%（平年46.6%）で発生量は平年並みである。
- ③向こう1か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) イネミズゾウムシ

予報内容  
発生地方 県下全域  
発生時期 やや早い  
発生量 平年並

予報の根拠

- ①前年の新成虫の誘殺数は平年並み（平年比53%）で、越冬成虫量は平年並みと考えられる。
- ②予察灯への飛来は、4月第6半旬まで認められない。
- ③有効積算温度による予測（5月1日現在※）では、越冬成虫の水田侵入盛期は平年に比べてやや早い見込みである。

地点	松江	出雲	赤名	大田	川本	浜田	益田
侵入盛期（予測）	5/16	5/19	5/29	5/13	5/16	5/19	5/15
（平年）	5/17	5/24	6/ 2	5/17	5/20	5/21	5/19

※今後の気温が平年並みに推移した場合

④向こう1か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容  
発生地方 県下「二十世紀」栽培地帯  
発生量 平年並

予報の根拠

- ①5月1日、県予察圃場で初発を確認した。
- ②4月23日の巡回調査（安来地区）では発病を確認していない。
- ③向こう1か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 黒星病

予報内容  
発生地方 県下ナシ栽培地帯  
発生量 平年並

予報の根拠

- ①5月1日現在、県予察圃場では発病を確認していない。
- ②4月23日の巡回調査（安来地区）では発病を確認していない。
- ③向こう1か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) シンクイムシ類

予報内容  
発生地方 県下ナシ栽培地帯  
発生時期 平年並  
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 初飛来日は4月5日で平年並みである。
- ② 前年のナシヒメシンクイ第3世代成虫の誘殺数はやや多く、越冬量はやや多いと考えられる。
- ③ フェロモントラップ（安来市）でのナシヒメシンクイの誘殺数はやや多い。
- ④ 向こう1か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

(5) ハマキムシ類

予報内容  
発生地方 県下ナシ栽培地帯  
発生時期 やや遅い  
発生量 平年並

予報の根拠

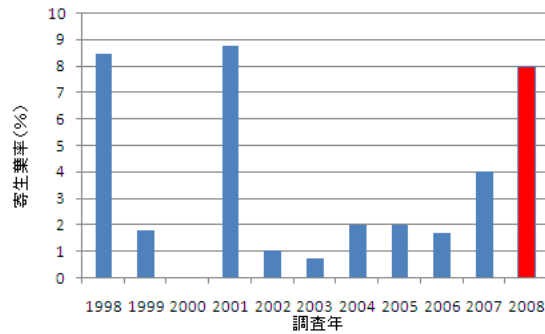
- ① 初飛来日は4月16日でやや遅い。
- ② フェロモントラップ（出雲市）でのハマキムシ類の誘殺数は平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(6) ハダニ類

予報内容  
発生地方 県下ナシ栽培地帯  
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① バンドトラップ調査ではカンザワハダニの越冬量はやや少ない。
- ② 4月下旬の巡回調査（安来市）では寄生花そう率は8.0%（平年3.1%）とやや高い。特にクワオオハダニの寄生率が高い。
- ③ 向こう1か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。



ナシの類におけるハダニ類の寄生率の推移

3) カキ

(1) カキクダアザミウマ

予報内容  
発生地方 県下カキ栽培地帯  
発生時期 平年並  
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬までに黄色粘着トラップで越冬成虫の誘殺は認められない。
- ② 5月1日の巡回調査では巻葉被害が認められない。
- ③ 向こう1か月の気象は気温は高く、降水量は平年並みと予想されており、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

C. 野菜

1) タマネギ

(1) ボトリチス属菌による葉枯れ

予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 やや少ない～少ない

予報の根拠

- ① 巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率9.1%（平年10.7%）、発病株率0.1%（平年0.3%）でやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は本病の発生にやや抑制的である。

(2) ベと病  
予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 多い  
予報の根拠 注意報第1号 参照

(3) 腐敗病、軟腐病  
予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 やや少ない～少ない  
予報の根拠

- ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率63.6%（平年71.7%）、  
発病株率1.2%（平年2.6%）で平年に比べてやや少ない。  
③向こう1か月の気象は本病の発生にやや抑制的である。

## 2) イチゴ

(1) 灰色かび病  
予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 平年並～やや多い  
予報の根拠

- ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、平年に比べてやや多い。  
②向こう1か月の気象は本病の発生にやや抑制的である。

(2) アブラムシ類  
予報内容  
発生地方 県下全域  
発生量 平年並～やや多い  
予報の根拠

- ①4月下旬の調査では、発生圃場率は14.3%（平年19.6%）、寄生株率は1.4%（平年2.3%）で発生量はほぼ平年並みである。  
②向こう1か月の気象は本種の発生にやや助長的である。

### 【参考となる事項】

#### ※最新の農薬登録状況

独立行政法人 農林水産消費安全技術センターホームページには、農薬の登録や失効に関する情報、農薬登録情報検索システムなどが掲載されています。  
農林水産消費安全技術センターのアドレスは <http://www.acis.famic.go.jp/>

### 農薬の安全使用の徹底を！

- ・農薬の使用基準（適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数）を遵守する。
- ・防除履歴（使用日時と場所、作物名、農薬の種類と量）を記帳する。
- ・農薬散布時には周辺作物に飛散（ドリフト）しないように注意する。
- ・水田で使用する農薬の止水期間を守る。
- ・有効期限切れ農薬は使用しない。
- ・散布後は散布器具の洗浄を徹底し、空き容器は正しく処理する。
- ・病虫害の発生状況を把握し、必要最小限の農薬使用に努める。

### 島根県病虫害防除所

（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ）  
〒693-0035 出雲市芦渡町2440  
TEL 0853-22-6772  
FAX 0853-24-3342  
e-mail nougi@pref.shimane.lg.jp